

危険な「大阪・関西万博」子どもたちの動員中止を

党市議団が市長と教育長に要請



立岡教育長(左端)に申し入れを行う日本共産党甲賀市議員団

「大阪・関西万博に子どもたちを招待しないことを求める申し入れ」 概要

今年3月末、夢洲1区で溶接作業中に、メタンガスに引火し爆発事故が起きました。夢洲はもともと産廃処分地だけに、万博開催中もメタンガスが発生します。さらに夢洲2区・3区は浚渫土砂や建設残土などの埋め立て地であり地盤沈下が進んでいます。

こうした危険な地域に「教育旅行(遠足)」と称して、4歳から高校生まで18万人を無料招待する計画を滋賀県が進めています。保護者からは「可燃性ガスが漂うところに子どもを送り出す気になれない」との声が出されています。しかも観光バス駐車場は、有害物質PCBの袋が1万袋埋められており、そこに子どもたちは降り立つこととなります。万博開催期間は、梅雨や台風などが多い時期となりますが、夢洲は大阪湾上に位置し災害を受けやすい地域です。避難経路も2つしかなく入場者を避難させるには不可能に近いといえます。

よって、子どもたちを万博に招待しないよう県に求めること。あわせて市内学校長にもその旨を伝え、子どもたちを動員しないこと。危険な万博は、いまからでも中止すべきです。

日本共産党甲賀市議員団は5月24日、岩永裕貴市長と立岡秀寿教育長に対し、ガス爆発事故が起こるような危険な万博会場に子どもたちを動員しないよう申し入れを行いました。

先週の議員団ニュースでもお伝えしたように、万博会場となる夢洲1区はもともと立入禁止区域となっていたところであり、万博開催中も常にメタンガスが発生し、爆発の危険が伴います。また観光バスの駐車場は有害物質PCBの袋が埋められている地域ですが、そこで子どもたちはバスの乗降を行うこととなります。暑い時期の開催であり、子どもたちの熱中症なども心配されます。

立岡教育長は「安全が何よりであり、現場確認を行う必要性も感じる」と応えました。

国保の負担軽減求め県に申し入れ

日本共産党滋賀県地方議員団



県の国保担当者(手前)に申し入れを行う日本共産党滋賀県地方議員団

日本共産党滋賀県地方議員団は5月23日、滋賀県庁で県の国保担当課長に、国保加入者の負担軽減を求め申し入れを行いました。これには各市町から約30名が、甲賀市から山岡・岡田議員が参加しました。

今年度の県内市町の国保税・料は、12市町が前年度と比べ「引き上げ」、6市町が据え置きですが、今後は大幅な引き上げは必至といわれています。これは、県が「令和9年度から県内市町の税・料率を統一する」ことを前提に納付金・標準保険料を引き上げているからです。国や県からの公的支援がない限り、国保加入者の負担増とならざるを得ない状況です。

申し入れでは、「国保会計に対し国の財政支援の抜本的強化」と一般会計からの繰り入れを行い、市町の納付金・標準保険料の引き下げと「令和9年度からの税・料率統一化の凍結」「現行保険証12月廃止方針の撤回を国に求めること」など7項目について改善を求めました。

7月から甲賀市社協へ委託

甲賀地域包括支援センター

甲賀地域の包括支援センターが、7月1日より甲賀市社会福祉協議会に委託されることになりました。甲南地域においても今年度中に、民間へ委託が予定されています。

6月議会は5日から

- 5日(水) 開会
 - 13日(木) 議案質疑
 - 14日(金)～19日(水) 一般質問
 - 20日(木)～25日(火) 常任委員会
 - 28日(金) 閉会
- *ぜひ傍聴にお越しください。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 6月 2日 第497号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044